

決算特別委員会会議録

平成26年10月15日(水)

(開会) 10:00

(閉会) 10:25

○委員長

只今から、平成25年度決算特別委員会を開会いたします。

「認定第1号 平成25年度飯塚市一般会計歳入歳出決算の認定」から「認定第13号 平成25年度飯塚市学校給食事業特別会計歳入歳出決算の認定」までの13件を一括議題といたします。

この際、皆さまにお願いいたします。すでに、お知らせいたしておりましたように、本日の委員会は資料要求のみにとどめ、実質審査は10月29日、30日及び31日の3日間で行いたいと考えておりますので、ご了承願います。

次に、効率的に審査を進めていくために、先に、お願いしておりました通告分以外の資料要求につきましては、本日用意していただきますようご協力をお願いいたします。

なお、通告分及び通告外を含め資料要求は一括して、お諮りしますので、執行部は後でそれぞれ答弁できるように整理しておいてください。

それでは、ただ今から、資料要求をお受けいたします。

はじめに、事前に通告をお願いしておりました資料要求につきましては、事前通告がございませんので、ご了承願います。

次に、事前通告以外に、資料要求はありませんか。

(要求なし)

資料要求はないようですので、本日の資料要求は、以上をもちまして終結いたします。

次に、執行部から認定議案に対する補足説明を求めます。

○財政課長

平成25年度決算の概要について説明させていただきます。

配布いたしております「平成25年度飯塚市決算に係る主要な施策の成果説明書」をお願いいたします。

1ページをお願いいたします。まえがきの中段部分に記載しておりますように、本市の平成25年度の予算につきましては、総合計画の目標の実現と更なる発展に向け、既成概念にとられない戦略的かつ斬新な視点にたって、選択と集中により限られた財源を現役世代および将来世代のために有効活用することを方針として編成いたしました。

この予算に基づき平成25年度に実施いたしました主な事業名を後段部分のかぎカッコ内に記載しておりますが、市民と協働のまちづくり・拠点連携のまちづくり、安心・安全なまちづくり、市民福祉の向上、教育・文化の充実、産業・経済の活性化、生活基盤の充実と環境整備及び定住化の促進などに向けた各種事業を実施いたしました。

3ページをお願いいたします。

決算の状況・決算規模の推移および歳入・歳出の状況についてご説明いたします。

Iの「決算の状況・決算規模の推移」の【決算の状況】につきましては、平成25年度の歳入歳出差引額、及びこれから翌年度へ繰り越すべき財源を除いた実質収支ともに黒字となっております。また、この実質収支額のうち1/2を下らない額7億9597万5千円を地方自治法の規定により財政調整基金に繰り入れております。

IIの「歳入の状況」では、区分ごとに前年度との比較表を記載し、次の4ページ以降に主な款別の収入状況につきまして、前年度との増減内訳とその主な要因についての説明を記載して

おります。

1 款の「市税」につきましては、個人市民税は生命保険料控除の改正により減少しましたが、法人市民税は、景気回復の影響により増加、固定資産税は、病院等の新築や設備投資の増加等の影響により増加しております。また、たばこ税は税源移譲による税率改正に伴い増加いたしております。

5 ページには、平成 25 年度一般会計歳入総額の約 3 割（26.3%、臨時財政対策債を含む 26.7%）を占めております 11 款「地方交付税」について記載しております。参考欄および説明書きにもありますように、臨時財政対策債を合計した実質的な普通交付税は、約 1 億 7 5 0 0 万円の減となりました。

7 ページをお願いします。15 款「国庫支出金」の国庫負担金では、平成 24 年度からの制度変更により子ども手当負担金が減少、児童手当負担金が増加しております。また、国庫補助金では、国の経済対策による地域の元気臨時交付金の増加、および、社会資本整備総合交付金が増加いたしました。合計で約 19 億 8 8 0 0 万円の増加となっております。

9 ページをお願いします。19 款「繰入金」につきましては、財政調整基金の記載はありませんが、平成 25 年度につきましても行財政改革の効果等による人件費や公債費の減などにより、前年度に引き続き財政調整基金の繰入れ（取崩し）をせずに決算できております。また、地域振興基金繰入金は、市町村分配金分を定住化促進事業に充当するため繰入をいたしております。

10 ページをお願いします。22 款「市債」につきましては、水道事業会計への出資債、小中学校施設整備事業債等が減となりましたが、病院事業会計出資債、中心市街地活性化事業債等の増により約 2 億 8 3 0 0 万円増額しております。

12 ページをお願いいたします。Ⅲの「歳出の状況」は、各款ごとに前年度決算額と比較いたしまして、増減の主な要因について歳入と同様に表の下に説明文を記載いたしております。

1 款の「議会費」では、インターネット中継機器を設置しましたが、議員共済給付負担金の負担率変更等により約 5 4 0 万円の減額となっております。

2 款「総務費」では、昨年度に引き続き減債基金積立金を将来の公債費負担に備え、約 1 8 億 1 6 0 0 万円積立てることができました。財政調整基金につきましても、約 1 億 8 0 0 万円積立てをいたしております。

13 ページの 3 款「民生費」では、平成 24 年度からの制度変更により児童手当が増加、子ども手当が減少しております。また、生活保護扶助費が減となりましたが、国民健康保険特別会計繰出金、私立保育所整備事業費補助金および生活保護国庫負担金返還金が増加したことにより、合計で約 10 億 2 8 0 0 万円の増額となっております。

4 款「衛生費」は、合併特例債を活用した水道事業会計への補助金、清掃工場電気・機械設備等更新委託料の減がありましたが、病院の一部建替に伴う病院事業会計補助金が増額となっております。

5 款「労働費」では、緊急雇用創出事業の減により減額となっております。

14 ページをお願いします。6 款「農林水産業費」では、活力ある高収益型園芸産地育成事業費補助金、荒廃森林再生事業費の減がありましたが、浸水対策事業費の増により前年度並みの決算額となっております。

7 款「商工費」では、中小企業資金融資預託金が減額となっております。また、工業団地の売却により工業用地造成事業特別会計繰出し金が減額となりました。

8 款「土木費」は、黒岩・堤田線道路新設改良事業は減額となりましたが、道路補修事業費、および、中心市街地活性化事業費が増額となっております。

15 ページの 9 款「消防費」につきましては、消防団車庫の建替えや消防自動車購入の消防

施設整備費が増となりましたが、常備消防費に係る普通交付税の基準財政需要額の減による飯塚地区消防組合負担金の減等により減額となっております。

10 款の「教育費」では、学校間ネットワーク構築のため委託料が増となっておりますが、穎田小中学校統合事業がほぼ終了したことにより、小中学校整備費、学校給食事業特別会計繰出金の減、および、小中学校に併設いたします穎田公民館建設事業費が減となるなどにより減額となっております。

11 款「公債費」では、前年比で約 9 億 9 0 0 万円の減額となりましたが、これは主に一般廃棄物処理事業債、旧地域総合整備事業債や福岡県貸付金などの償還終了等によるものでございます。

16 ページをお願いします。12 款の「予備費」は、主に筑豊ハイツ改修に係る経費や大雨災害の災害復旧において緊急に対応すべき経費等に充用いたしております。

13 款「災害復旧費」につきましては、平成 25 年 8 月の大雨による災害のため、農業施設、農地、道路橋りょう、河川災害等の復旧事業を実施いたしました。

17 ページをお願いいたします。

IV「主要施策の成果」につきましては、平成 21 年度から取り組んでおります「事務事業評価シート」を活用いたしまして、当該事務事業に要した経費、目的、実施状況、目標達成度、成果と課題について抜粋して記載しております。本年度は一般会計では、ほぼ全費目にわたって 176 の主な事務事業を記載しております。100 ページからは特別会計について記載しておりますが、基本的には一般会計と同様の形式の成果説明書となっており、23 の主な事務事業について掲載をいたしております。

事業ごとの内容の説明は省略させていただきますが、平成 25 年度に得られた成果や今後取り組んでまいります課題等々を記載しておりますので、審査のご参考にしていただきたいと思います。

続きまして、129 ページ以降に掲載しております資料を用いまして決算の概要を説明させていただきます。

130 ページをお願いいたします。この表は、決算額を会計毎に前年度と比較したものでございます。

平成 25 年度の一般会計の歳入総額は、6 4 6 億 9 2 2 6 万 3 千円、歳出総額は、6 2 7 億 3 3 0 0 万 7 千円、差引 1 9 億 5 9 2 5 万 6 千円の黒字ですが、このうち平成 26 年度への繰越財源が 3 億 6 7 2 7 万 7 千円含まれていますので、実質の黒字はこの繰越分を除いた 1 5 億 9 1 9 7 万 9 千円となります。

一般会計と 12 の特別会計を合計いたしますと、下段の合計の欄ですが、歳入は、1 0 8 6 億 6 3 5 8 万 9 千円、歳出は、1 0 7 4 億 3 4 1 6 万 9 千円、差引は、1 2 億 2 9 4 2 万円の黒字となっております。

全会計のうち、小型自動車競走事業特別会計のみで 1 4 億 4 6 1 万 2 千円の赤字決算となっており、平成 26 年度からの繰り上げ充用金で赤字決算の処理をいたしております。

次の 131 ページの表は、平成 16 年度からの地方債現債高の推移をまとめたものでございます。普通会計の計の欄から 4 行上ですが、臨時財政対策債は、前年度比で約 1 3 億 9 5 0 0 万円増加しておりますが、これは償還時に全額普通交付税に算入されますので、実質的な負担にはなりません。

普通会計の計としましては、一般廃棄物処理事業が平成 24 年度で終了したことなどによる減額要素がありますが、大型事業の実施により前年度より約 3 1 億 2 9 0 0 万円増加しております。

132 ページをお願いいたします。

この表は、平成23年度末から平成25年度末までの基金の状況についてまとめたもので、財源調整のための基金であります財政調整基金は、平成25年度末残高が約73億2500万円となっており、前年度末より9億8000万円ほど増加しております。また、将来の公債費に備えた減債基金の積み立ても行うことができ、前年度末より約18億2800万円多い、約48億5500万円の残高となっております。

次の133ページには基金の運用状況についての資料を付けております。

左の表では、預金・債権・貸付金の運用区分ごとの平成24年度末及び平成25年度末の現在高を記載しており、右側の表に平成25年度の預金利子および運用収入の内訳を記載しております。収入額は、大口定期預金等による預金利子が4490万3千円、国債等による運用収入が4046万7千円となっております。

136ページをお願いいたします。

この表は、普通会計の財政指数等の10年間の推移をまとめたもので、右端の列に平成25年度の決算状況について記載しております。

普通会計の歳入・歳出総額とも前年度より大きく伸びております。歳入から歳出を差し引いた形式収支は、約20億6500万円、翌年度繰越し財源を除きました実質収支は16億5100万円の黒字となっております。単年度収支から財政調整基金の積立金等を加算し繰入金を除きました実質単年度収支につきましても、前年度に引き続き約7400万円の黒字となっております。

下から7行目に記載しております経常収支比率は、地方公共団体の財政の弾力性を示すもので、経常的に収入することができる市税などの一般財源のうち人件費・扶助費・公債費などの必ず支出しなければならない経常的な経費に充てる一般財源の割合を表しております。平成25年度では88.5%となり、前年度の91.4%より2.9ポイント改善しております。速報値で政令市を除く福岡県内26市の中で12番目に位置しており、平均の89.7%を下回っている状況でございます。また、今回の改善の要因としましては、歳出で、給与の臨時特例減額、行財政改革の効果などにより人件費や公債費が減少したことが挙げられます。

次の137ページに記載しております健全化判断比率及び公営企業の資金不足比率につきましては、9月議会でご報告いたしましたので、説明は省略させていただきます。

138、139ページに一般会計の歳入および歳出の款別決算額について前年度と比較いたしました表を掲載しております。先ほど本編の中で主な増減内容についてご説明しましたので、ここでの説明は省略させていただきます。

140ページをお願いします。

この表は、一般会計の歳出を性質別に平成24年度と比較したもので、主な増減の要因について説明させていただきます。

義務的な経費では、職員数の減、給与特例減額による減等により人件費が減少、一般廃棄物処理事業債の償還終了等により公債費は大幅に減少しております。

積立金では、財源調整の余剰分を財政調整基金および将来の公債費に備え減債基金を積立てたことにより増加しております。

繰出金では、国民健康保険特別会計繰出金が増額となりましたが、工業団地の売却により工業用地造成事業特別会計繰出金の減額、颯田小中学校統合事業分の学校給食施設の整備に伴う学校給食事業特別会計繰出金の減額などにより減額となっております。

投資及び出資金・貸付金では、中小企業融資資金預託金の減少により減額、および、老朽施設更新事業等の合併事業への出資分に係る水道事業会計補助金の減額などにより減額となっております。

また、投資的経費では、颯田小中学校統合事業がほぼ終了したことにより、小中学校施設整

備事業が減額、学校給食事業特別会計繰出金が減額となっております。また、清掃工場電気・機械設備等更新委託料についても減額となっております。しかし、中心市街地活性化事業の大幅な増加などにより全体として増額となっております。

141ページから154ページにかけて、市税、医療費助成、生活保護、市有土地売却、債務負担行為などの調書を掲載しております。

155ページ以降は、総務省が示しました手法により、貸借対照表、行政コスト計算書、純資産変動計算書、資金収支計算書の財務諸表4表を普通会計およびこれに他の特別会計や一部事務組合等を含めました連結会計の2つの区分で作成し添付いたしておりますが、内容の説明は省略させていただきます。

以上で決算概要についての説明を終わります。

○委員長

この際、正副委員長から委員の皆さまにお願いいたします。執行部答弁が的確に行われ、より実効性のある決算審査とするために、例年、委員の皆さまには、事前の質疑事項通告をお願いいたしているところがございますので、今回につきましても同様に、ご協力をお願いします。

また、当然のことですけれども、決算審査でありますので、決算に関係のない質疑はご遠慮いただきますよう、よろしくお願いいたします。

なお、質疑通告の提出期限は、10月17日（金）までとなっておりますので、できるだけお早めに事務局まで提出いただきますよう重ねてお願いいたします。

また、執行部におかれましては、質疑事項に対して、正確かつ簡潔に要領を得た答弁をされますよう、特に要望しておきますので、よろしくお願いいたします。

お諮りいたします。本日の審査は、この程度にとどめ、次回の委員会を10月29日（水）午前10時から開きたいと思いますが、ご異議ありませんか。

（ 異議なし ）

ご異議なしと認めます。よって、そのように決定いたしました。

お諮りいたします。「認定第1号 平成25年度 飯塚市一般会計歳入歳出決算の認定」から「認定第13号 平成25年度 飯塚市学校給食事業特別会計歳入歳出決算の認定」までの13件については、継続審査とすることに、ご異議ありませんか。

（ 異議なし ）

ご異議なしと認めます。よって、そのように決定いたしました。

以上をもちまして、平成25年度決算特別委員会を散会いたします。お疲れさまでした。